第31回沖縄海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会　大会要項（案）
第64回沖縄県春季中学校軟式野球大会
（第41回全日本少年軟式野球大会沖縄県予選大会）

１．目　　的　　軟式野球に親しむ少年・少女に夢と希望を与え、また軟式野球を通して地域における少年スポーツの振興を図ると共に、心身共に健全でたくましい２１世紀を担う青少年の育成に寄与することを目的とする。

２．主　　催　　一般社団法人沖縄県野球連盟

３．共　　催　　琉球新報社

４．協　　賛　　沖縄海邦銀行

５．後　　援　　豊見城市教育委員会、北谷町教育委員会、恩納村教育委員会、金武町教育委員会

６．期　　日　　令和６年３月２日（土）　３月３日（日）

７．日　　程　　２日（土）　開会式８：00　瀬長島野球場（８チームのみ参加）
１回戦・２回戦　競技開始９：30（瀬長島野球場）　９：00（桑江・金武中学校）
３日（日）　準決勝・決 勝・閉会式　競技開始９：00

８．会　　場　　２日（土）『　瀬長島野球場Ｂ　』『　瀬長島野球場Ｃ　』
『　桑江中学校　』『　金武中学校　』
３日（日）『　桑江中学校　』
※大会運営上、日程変更や会場を変更または移動しての試合もあり得る。

９．参加資格　　(1)沖縄県内の中学校に在籍する１・２年生の生徒で編成されたチームで各地区の代表となったチームとする。なお、１校１チームとする。
(2)一般社団法人沖縄県野球連盟に登録していること。（硬式ボールを使用している団体に登録又は大会に参加している者は、連盟に登録することはできない。）
(3)１チームは選手１０名以上２５名以内、監督１名、コーチ２名以内で編成、ただし、監督、コーチは２０歳以上とする。
(4)大会でベンチに入れる人員は、監督、コーチ、選手およびチーム代表者（引率責任者）、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）の各１名とする。
(5)参加資格の特例を認める。
１）「開催基準８(6)複数合同チーム」
２）「地域スポーツ団体等」

※地域スポーツ団体等については、下記資格の保有を必須とする。
①　指導者資格（ア～ウのいずれかを保有していること）
ア、日本スポーツ協会公認コーチ１（軟式野球）
イ、日本スポーツ協会公認コーチ３（軟式野球）
ウ、BFJ 公認野球指導者基礎Ⅰ（U-15）
②　審判員資格
ア、（一財）全日本野球協会アマチュア野球規則委員会公認３級審判員以上

(6)県・地区中体連の規定及び各学校の規則に沿った中学生らしい身なり・容姿で参加する。
(7)第41回全日本少年軟式野球大会（2024年８月横浜スタジアム開催）への出場資格を獲得した際、県代表としての自覚と責任を持ち、派遣可能な学校を本大会の参加条件とする。

10．出場チーム　　県内７地区代表１６チーム

地　区	国　頭	中　頭	那　覇	久米島	島　尻	宮　古	八重山	計
割当数	２	４	４	１	３	１	１	１６

11．競技規則　　(1)2023年公認野球規則および2023年（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携、本大会競技規則細則に則って行う。
(2)競技方法はトーナメント方式とする。
(3)試合は７回戦とし、得点差によるコールドゲームは３回以降10点差、５回以降７点差とする。また、日没、降雨のコールドゲームについては全試合５回以降成立とする。日没・降雨などで試合が成立しない場合は特別継続試合(ｻｽﾍﾟﾝﾃﾞｯﾄｹﾞｰﾑ)を適用する。試合時間の制限は行わない。
(4)７回を完了し同点の場合は８回からタイブレーク方式とする。（継続打順で０アウト一・二塁の状態にして投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。
(5)背番号は１～２５番を使用し、原則としてポジション順とする。
※天候の都合で日程変更がある場合は、本部で協議の上、特別ルールを設定する。

12. 使　用　球　　全日本軟式野球連盟公認（ナガセケンコーボールＭ号球）とする。

13. 組み合わせ　　令和６年２月 15 日（木）「石川地区公民館」において本部抽選により決定し、後日、沖縄県中体連野球専門部 HP（**http://okifffbb.web.fc2.com/**）にて発表する。

14. 表　　彰　　⑴優勝校には優勝旗、優勝杯、優勝盾、賞状を授与する。
⑵準優勝校には準優勝盾、賞状を授与する。
⑶３位には賞状を授与する。

15. 参加申し込み　　⑴出場資格を得たチームは沖縄県中体連野球専門部 HP（**http://okifffbb.web.fc2.com/**）より所定の大会申込用紙に必要事項を記入し捺印を受け、大会参加料五千円を添えて２月 15 日（木）までに羽地中学校へ直接持参するか、郵送で申し込む。なお、大会冊子用データを２月 14 日（水）までにメール送信すること。（**okifffbb2007@yahoo.co.jp**）
⑵選手変更届は、沖縄県中体連野球専門部 HP よりダウンロードし、原本とコピー２部を準備し、大会当日に球場長へ提出する。（コピーは両日ともに球場長に提出）
※申込期日を過ぎても地区代表校が決定できない状況の場合は、地区専門部長は直ちに県専門部長へ報告することとする。
【申込先】　〒905－0011　沖縄県名護市字仲尾次７７０番地　名護市立羽地中学校
沖縄県中学校体育連盟野球専門部長　米田　善行　宛

16. 旅費宿泊費　　本大会における旅費・宿泊費はすべて参加チームの負担とする。

17. そ　の　他　　⑴チームの責任は、引率者において、一切負うものとする。
⑵大会出場中の選手の傷害は、大会本部において応急処置を行い、後は各学校で処理する。
⑶大会参加の際、健康保険証のコピーを持参すること
⑷「第 41 回全日本少年軟式野球大会」（横浜スタジアム）に出場するチームの登録選手は令和６年度の沖縄県中体連夏季軟式野球大会への出場はできない。

競技規則

1．試 合 時 間　　⑴試合は１時間３０分と計算し、その６０分前までには集合する。

2．オーダー交換　　⑴オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。（５部提出）
⑵攻守決定は前の試合の４イニング終了時（第１試合は試合開始４５分前）に監督立ち会いの上主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
⑶ 参加校は校歌のＣＤ（１番のみ）をオーダー交換時に提出する。（シートノック時に流す。）

3．ダッグアウト　　⑴抽選番号の若い方が１塁側とする。但し同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。
⑵ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。
⑶ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。（ベンチ内１個とする。）

4．シートノック　　⑴相手チームがシートノックを行っている時に、道具等の点検を行えるように準備すること。

5．応　　援　　⑴中学生にふさわしい応援をする。
⑵応援は攻撃側のチームが優先に行う。

６．用　　具　　⑴ マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものは球場内への持ち込みを禁止する。
⑵ 沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」を適用する。

7．試合のスピード化　　⑴ベースコーチ・打者・次打者の４名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。

8．そ　の　他　　⑴シートノック時、安全管理を徹底するとともに、マウンド付近は使用しない。
⑵投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しない。
⑶マネージャー及びスコアラーが生徒の場合、ユニフォームか制服とする。
⑷ 選手交代は、監督が球審に告げること。
⑸各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタンドの清掃をすること。